

令和6年度 ひまわりアドバンス研修

# 身寄りなし問題を考える研修会

「ひまわりアドバンス研修」は、地域の医療・介護関係者のより一層のスキルアップを図ることを目的に、在宅医療・介護連携に資する知識を深める研修を行っています。

今回は、様々な場面における身寄りなし問題を考える研修会を開催いたします。

令和7年

1月11日(土)

14:00~16:30

会場

船橋市役所11階大会議室

費用

無料

対象・定員

医療・介護・福祉関係者  
100名

※ この研修は「ひまわりポイント」の対象です（医療・介護専門職のみ）  
※ 当日の市役所駐車場は有料となります

## 1 講義（70分間）

### 「身寄りなし問題を考える研修会」

講師：須貝 秀昭 氏

NPO法人身寄りなし問題研究会 代表

## 2 グループワーク（40分）

講義の感想や学び、それぞれの立場でできそうなこと等を、多職種で話し合しましょう。



## 3 意見交換及び質疑応答（20分）

申込方法については裏面をご覧ください→



船橋在宅医療  
ひまわりネットワーク

TEL 047-436-2558

申込期日

令和6年12月27日（金）

【2次元コード】

申込方法

次のいずれかの方法により、お申込みください。

1. URLあるいは2次元コード

【URL】 [https://e-shinsei.city.funabashi.lg.jp/u/offer/offerList\\_detail?tempSeq=5802](https://e-shinsei.city.funabashi.lg.jp/u/offer/offerList_detail?tempSeq=5802)

2. メール（下記の問い合わせ先）

申込み事項:①「1/11ひまわりアドバンス研修申込み」

- ②お名前（フリガナ）
- ③勤務先・所属
- ④職種
- ⑤経験年数
- ⑥電話番号
- ⑦連絡先のメールアドレス
- ⑧講師への事前質問（任意）



お問い合わせ先

船橋在宅医療ひまわりネットワーク事務局  
（船橋市 地域包括ケア推進課内）

[TEL] 047-436-2558 [FAX] 047-436-2885

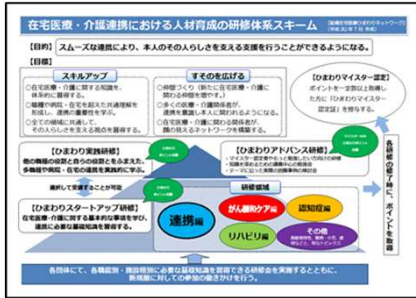
[E-mail] [hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp](mailto:hokatsu-care@city.funabashi.lg.jp)

その他お知らせ

## 人材育成委員会の活動について

### 【在宅医療・介護連携における人材育成の研修体系】

研修体系を策定し、“連携”に必要な基礎知識を習得して人材のすそ野を広げる「ひまわりスタートアップ研修」と連携を実践的に学び、スキルアップする「ひまわり実践研修」、さらに知識を深めるための「ひまわりアドバンス研修」を実施している。



### 【活動実績（一部抜粋）・参加者の感想】

#### ひまわりスタートアップ研修

●**連携編「質の良いケアを提供するためのチームづくり」**  
船橋市在宅医療支援拠点ふなぼーと総括者 佐々木ゆかり氏を講師に、これまでの連携編の振り返りや、「エンドオブライフケア」「アドバンス・ケア・プランニング」について学びました。  
（参加者の感想）グループワークで多職種による課題整理ができ、前向きに取り組めるように感じました。

●**リハビリ編「高次脳機能障害についての基礎的な知識や地域でのリハビリテーション支援について」**  
千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援センター部長 長谷川純子氏をお招きして、疾患の基礎的な知識を学びました。  
（参加者の感想）実際に地域でどんな困りごとがあるのかわかって良かったです。

研修会参加者にひまわりポイントを付与し、ポイントを貯めた方をひまわりマイスターとして認定する。

**ひまわりポイントカード**

ポイントカードの仕組みと利用方法について説明されています。

**ひまわりスタートアップ研修**

研修の目的、対象者、実施日時、会場、講師などの情報が記載されています。

#### ひまわり実践研修

●**「在宅急変時にどうしたらいい？～急変時の対応をみんなで考えよう～」**  
JCHO船橋中央病院にご協力をいただき、実際に人形を使っての心肺蘇生法等、在宅急変時の一次救命処置（BLS）を実践的に学びました。  
（参加者の感想）実技演習があったことで、現場に居合わせた時、冷静に対応できるように感じました。

#### ひまわりアドバンス研修

●**災害看護「現場から伝える私の災害看護論」**  
講師に宮城恵里子氏（元健和会臨床看護学研究所副所長）をお招きして、東日本大震災発生時、看護師として実際に支援活動を行った時の経験を基に、災害看護についてお話いただきました。  
（参加者の感想）被災地の仮設住宅等での取り組みを知り、大変な時にこそ地域のために活動することができると感じました。



船橋在宅医療  
ひまわりネットワーク